

令和元年度群馬大学医学部附属病院長への提言

次のとおり提言しますので、病院の運営に活かすとともに、その対応状況について随時報告願います。

1. インフォームド・コンセントについて

- ・インフォームド・コンセントを録音する体制は、今後も継続していただきたい。現状、録音は希望者に対してのみ行っているが、今後は希望をしない方以外は原則録音する体制となるよう検討していただきたい。

2. 説明同意文書について

- ・記載についてわかりやすい表現となるよう今後も改善していただきたい。また、術後の急変時においても、引き続きしっかり取り組んでいただきたい。

3. カルテ共有について

- ・他院からの紹介状等の共有については、貴院だけでの判断は難しいかもしれないが、引き続き検討していただきたい。
- ・閲覧について、利用時間等の一部制約は、患者さんやご家族が利用しやすいよう緩和していただきたい。併せて、申請をしながら利用しなかった方の意見を伺った上で、利用の促進方法を検討していただきたい。
- ・院内各部門と協力して、カルテ共有の意義を広めていただきたい。また、カルテ共有に関する教職員の意識について調査していただきたい。
- ・検査結果等データも、引き続き確実に患者さんへ配布されるよう取り組んでいただきたい。
- ・患者さんやご家族がカンファレンスへ参加することについては、病気に対する知識や専門性等の観点から難しいかもしれないが、引き続き、推進していただきたい。

4. 情報の発信、医療安全週間

- ・貴院ホームページでの患者参加型医療推進委員会の情報発信について、わかりにくいなどの課題があることから、一般の方でもわかりやすいよう見直しを検討していただきたい。
- ・医療安全週間について、一般の方も積極的に参加できるような実施を検討していただきたい。

5. 「誓いの碑」について

- ・「誓いの碑」については、設置して終了ではなく、今後の医療安全推進に資するものとなるよう活用方法等を検討していただきたい。

以 上